

リニア中央新幹線

JR東海の説明会で、住民の不信つのる

JR東海は、リニア中央新幹線のルートと非常口を発表。川崎の11カ所で説明会を行いました。しかし、その不誠実な態度に住民の不信が募っています。

Q：詳しいルートと非常口の地番を教えてください。

A：ルートを中心は、地図にある1mmの線(10m)の中を通る。地番は、今はまだ分からない。

??準備書の大半の地図は平成8年作成のもの。尻手黒川線は途中までしか記されていない。新しい地図は「中央新幹線環境図」のみ。

Q：不動産価値が下がれば補償は？

A：大深度法によるトンネル工事なので、補償はない。不動産価値は当社が言える立場にない。

Q：自民党がリニア延伸に822億円の予算を請求したが？

A：全額、当社が自己負担する。

??と言ったが、山田社長は「受け入れを検討」(毎日10.8)と発言。ついに我々の税金が投入される事態になるか。

Q：武蔵野南線が、自宅の地下50mをとおり、振動や音がする。リニアはどうか？

A：振動予測値は最大48dBで基準値70dBを下回り、問題はない。
??ルート上の住民は「基準値を下回る」振動で早朝・夜間に安眠を妨げられることに。

Q：葛西会長が「即刻に原発再稼働を」と発言。リニアは原発ありきか？

A：会長の個人的意見だ。

Q：原生の自然がいまだ残り、200もの活断層、断層破碎帯がある南アルプスルートをとったのはなぜか？

A：最短コースだから。どこを通しても自然破壊は同じだ。

ここから見えてくるJR東海の姿は、どんなに環境や住民の生活に影響がでて、地図に線を引けばどこでも通せるというJR東海の横柄な態度です。

意見書を出そう!! =11月5日まで募集中=

● 環境影響評価準備書(神奈川県)

提出先; JR東海

①インターネットの場合:

JR東海ホームページの専用入力フォーム <https://jr-central.co.jp/public/opinion>

②郵送の場合: 〒108-8799 高輪郵便局留 JR東海中央新幹線環境影響評価準備書 ご意見受付係

問い合わせ先: JR東海 環境保全事務所(神奈川) 電話: 042-756-7261 平日 9時~17時

● 法対象条例環境影響評価準備書(川崎市) 提出先; 川崎市

宛先: 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市環境局環境評価室

◎郵送の場合は、住所・氏名・電話番号(川崎市の場合)等記載のこと。意見書の様式は自由